

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 **たけのこクラブ** 保護者等数(児童数) 38 回収数 25 割合 65%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		活動スペースを分け、人数によって活動内容を変更しながら安全に配慮した活動をしている。卓球台やフィットネスバイクなど遊具も充実させて活動の幅を広げます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	96%	4%	0%	0%	*専門性が適切かは基準がわからない為不	安心安全に過ごせるよう職員配置基準よりも多くの職員の配置をしている。配置数、専門性は必要に応じて情報共有として保護者に伝えていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	52%	48%	0%	0%	*段差とかはない気がしますが、スロープや手すりは付いていなかった気がします。	事業所に段差はないが、現在スロープや手すりの設置はしていない。今後は必要に応じて設置を検討する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%	*子供が楽しく利用できるような配慮して頂き、出来ていない課題(買い物練習)など見守り指導して頂きありがたかったです。	毎月のミーティング、保護者とのモニタリング等できつかりと計画作成を行っている。実際の活動の中にも取り組んでおり、保護者への理解も得られている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88%	12%	0%	0%	*土曜が毎週ZOOMの日なので(コロナ中は仕方なかったですが)、そろそろお出掛けイベントがあると嬉しいです。 *季節毎のイベントも楽しませて頂いています。	季節に応じたイベントや、日々の取り組みでも変化を付けている。コロナ禍でなかなか戶外活動が出来ない状況ではあったので、今後は戶外活動も積極的に取り入れていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12%	48%	32%	8%	*障がいのない子と活動する機会はない気がしますが、ないままで大丈夫です。	コロナ禍で施設外の交流が難しい状況であったが、戶外活動も積極的に取り入れていき、必要であれば検討はしている。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		契約時の重要事項説明の際に丁寧に説明を行っている。今後も丁寧にしていきたい。疑問点・不安な箇所がないかも確認をとっていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	0%	0%	4%	*どの先生からも様子を分かりやすく知らせて頂いています。	送迎時に連絡帳の内容やその日の活動内容、児童の様子を保護者へ伝えるようスタッフに周知し、実行している。また送迎時に保護者とお話しさせていただいた内容はスタッフ間で共有し、課題等の理解を深めた上で支援を行っている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	*たけのこの先生たちのおかげで補助着を借るようになりました。ありがとうございました。	モニタリングや送迎の際に、様子をお伝えする他、取り組みや支援に関してのお話しもさせていただいています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12%	40%	40%	8%	*保護者同士の集まりはなかったの「いいえ」にしています。	コロナ禍以前は行事などで保護者同士が集まる機会があった。今後は季節行事のイベント等で集まれる機会を検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	96%	4%	0%	0%	*苦情ではありませんが、車から降りる順番を提案させて頂いたあとすぐに対応あり安心しました。 *苦情を申し立てた事がないので不明。	今後も苦情に対して迅速に対応を行い、苦情内容は職員で話し合い周知していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		日々の子どもとの会話や、送迎やモニタリングの際の保護者との会話など、管理者へ伝達、管理者から子どもや保護者への連絡も配慮した上でやっている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%	0%	0%	*HP、ひまわり成長記録いすね〜！子どもが行っていた水やりはこれだったんだと！きれいに習ちましたねー！ *活動予定や内容、様子などは予定表や口頭でよく知らせて頂いています。 *行事予定は毎月お知らせがある。	月1回月間の行事予定をお渡ししている。活動内容も詳細を記載、直接連絡してお伝えするなど工夫をしている。HPも不定期ではあるが活動内容を更新している。今後はHP等も保護者へ周知していく。
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		個別ファイルも鍵付き書庫へ保管、日々の会話にも個人情報に気を付けて行っている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	92%	8%	0%	0%		各種マニュアルを策定、各保護者へ周知している。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	96%	4%	0%	0%		年に3~4回洪水、地震、火災を想定した避難訓練を実施している。実際に予定表にも組み込み、連絡帳にもその日行った避難訓練を記載して保護者へ伝えられている。今後も分かりやすく保護者への周知は行っていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%	0%	0%	*行きたい時と行きたくない時とありますが満足は楽しかったー！と言って帰宅してきます。 *予定表を見て自分で選んでいて、友達とも楽しそうです。 *毎回行くのを楽しみにしており帰宅時も楽しそうに帰ってくる。	児童が今日も楽しかった。来て良かったと満足できるよう日々の活動を職員全員で考えたい。本人にとって来て良かったと思える内容を更に職員全員で考え活動内容に取り入れていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		保護者、本人のニーズに沿った支援を計画に基づいて行っている。今後も日々の会話等から必要なニーズを聞き出し、満足できる内容を継続していく。

ご意見・ご要望

- ・主に集団で活動することや、お友達とのコミュニケーションを学んで欲しいと思っています。
- ・面談の時も話しましたが、沢山動画・写真を送ってもらえると嬉しいです。
- ・いつも大変お世話になってます。家や学校の他に本人にとって安心出来る居場所を提供して頂き感謝しています。私にとっても本人のことで話せる方がいることは大きな助けです。これからも宜しくお願い致します。
- ・子供の事をしっかりと見ていただきいつも感謝しております。私にとっても子供にとっても安心できる居場所です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名

たけのこクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	小学生、中学生、個室のスペースを確保し、目的に合わせて使い分けをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	児童数に合わせて職員を必要数よりも多く配置するようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	85%	15%	施設全体は段差がないような造りとしている。	今後設備が増える事により不適切にならないように、しっかりと配慮していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎月のミーティング内でもしっかりと話し合い、職員全員で取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	職員全員にもアンケート内容を周知し、話し合う機会を設け、今後の改善点に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPIにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	92%	8%	療育会や担当者会議などで他施設との関わりで意見を聞く機会を作り、支援に網羅している。	毎月のスタッフミーティング内でも職員全員へ通達し、情報を共有していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	新人研修や毎月ミーティングを行っている。また年数に応じて研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、職員間でも議論した上で計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所全体として必要な項目を確認しながらアセスメントを取れるツールを用いている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	担当を決め、療育前、療育後の時間を使い、スタッフと話し合う機会を作っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	定期的にプログラムの入れ替えを行い、固定化しないように取り組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	活動時間を配慮しながら課題や取り組みを考えている。	中高生に向けて買い物学習や公共交通機関を使っている移動支援などを休日や長期休暇を利用して、個々に課題に応じた支援を更に深めていく取り組みに力を入れていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者会議やモニタリング、スタッフとの会議を行いながら、子どもの状況を把握し、目標に合わせた計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前に職員全員でその日の利用者を確認し、1日の流れ、対応や役割を話し合う時間を作っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後に職員全員で1日を振り返り、それぞれ気づいた点など意見を出し合う時間を作り、次の利用の際に気を付ける点なども共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録の内容を職員で情報共有し、次回への取り組みに活かすことを心掛けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。また職員全員に情報共有をしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	1つの活動に偏らない活動内容で日々考えながら組み合わせた活動に取り組んでいる。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画しており、利用者の状況を細かく伝えている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校からの引き渡し場所・方法は学校と話し合い、明確に決めている。下校時刻等は紙媒体や電子媒体で共有出来るようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医との面談、情報交換等は必要に応じて行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	障害福祉サービス事業所への移行前に各事業所と連携し、担当者会議等で情報共有を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	必要に応じて、連携しながら対応を行い、職員への研修等も行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	62%	38%	他施設や地域の交流にも参加を画策している。	コロナ禍で思うような活動が出来なかったが、必要に応じて他クラブや障がいのない子どもとの交流も検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	協議会へ参加し、職員への情報共有も行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に利用時の状況を伝えながら、情報を心掛け、支援に繋げている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	モニタリングの際に、家庭の様子を聞き取りながら、保護者への負担にならないような方法の提案等を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	保護者との契約の際に丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者の話をしっかりと受け止め、関係職員にも意見を聞きながら支援を行っている。また毎月の職員会議にも事例として意見を仰いでいる。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	77%	23%	季節毎のイベントなどで父母も参加して、保護者同士の繋がりを作る機会を作っている。	コロナ禍で思うようなイベント活動が出来なかったが、今後は児童のイベントを通して保護者同士の繋がりを支援も行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	素早く職員全員に内容を周知し、改善点や体制を情報共有し整備した上で対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、行事予定表の配布を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	SNSやLINEなどのやり取りの中でも書き込み禁止など細心の注意を払っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	相手の意思・主張を尊重することを忘れず、丁寧に対応することを心掛けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	62%	38%	地域住民との関わりで、地域清掃などの取り組みを行っている。	行事への招待は行っていないが、今後必要性があれば検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルをファイル管理して、閲覧出来ようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に3～4回、洪水・地震・火災を想定した避難訓練を行っている。記録に残し保護者へも連絡帳や予定表での周知も行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎月のミーティングでも情報共有を行い、対応を話し合っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	事業所内で予め身体拘束の取り決めを行っている。それを踏まえた上で、契約の際に保護者へ丁寧に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	必要な子どもについて、保護者・医師に確認、指示書に基づいて対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ファイルを作成し、職員で共有出来るようにしている。	